

原発関連の動き

(赤：国外関連、青：地震など関連情報、緑：事故など)

「2020 月 4 月」

2020年

- 4 月 1 日 関西電力が、美浜原発 3 号機のテロ対策施設「特定重大事故等対処施設」の設置に関する原子炉設置変更許可申請の補正書を原子力規制委員会に提出した。工事費用などが当初より約 232 億円増える。
- 4 月 1 日 九州電力が、原子力災害の発生を防止する業務などをまとめた原子力事業者防災業務計画を修正したと発表した。九電が送電部門を分社化したことに伴い、防災業務の委託に関する部分を書き直した。
- 4 月 1 日 原子力規制委員会が、原発など原子力施設を抜き打ちで検査する新制度を開始した。施設内のどの設備にも自由に立ち入り検査できるようになり、不備があれば、運転停止命令を出せる。
- 4 月 1 日 四国電力が、伊方原発に定期検査の作業計画の妥当性などをチェックする専門の準備チームを設置する。定検作業中に相次いだトラブルを受けた対策の一環。
- 4 月 1 日 日本時間午前 8 時 52 分ごろ、アイダホ州北西部でマグニチュード 6.5 の地震が発生した。
- 4 月 1 日 関西電力が、株主の神戸市を訪れ、役員らによる金品受領問題の再発防止を目指す業務改善計画について説明した。
- 4 月 2 日 国際原子力機関が、福島第一原発の処理水は海や大気に放出するのが現実的だとする日本政府小委員会の提言を支持する評価報告書を公表した。「二つの放出方法は技術的に実行可能だ」としたほか、廃炉作業完了までに処理水の処分を終えとの目標についても「達成できる」との見方を明らかにした。
- 4 月 2 日 午前 0 時 33 分ごろ、千葉県東方沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは 4.2 と推定。千葉県銚子市で震度 3。
- 4 月 2 日 19 時 08 分ごろ、宮古島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは 4.5 と推定。沖縄県宮古島市で震度 3。
- 4 月 2 日 中国南西部の四川省でマグニチュード 5.6 の地震が発生した。
- 4 月 3 日 衆院経済産業委員会で関西電力役員らの金品受領問題を集中的に審議が行われた。森本孝関電社長が「多大なご迷惑をお掛けしておわび申し上げます」、「全社を挙げて、着実に業務改善計画を実行していく」と述べ、再発防止や法令順守に取り組む考えを示した。

- 4月3日 14時30分ごろ、広島県南東部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.1と推定。広島県尾道市、福山市で震度3。
- 4月4日 ウクライナのチェルノブイリ周辺の居住禁止区域で、森林火災が発生した。科学者が、放射線測定器のガイガーカウンターが通常の16倍の放射線量を示す動画も公開したが、政府はその主張を否定した。
- 4月6日 午前5時00分ごろ、石川県能登地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.9と推定。石川県輪島市、穴水町で震度3。
- 4月6日 福島第一原発にたまる処理済み汚染水の処分方法について、政府が、福島市内で地元首長ら10人から意見を聴く会を開いた。海か大気中への放出を「現実的」とする経済産業省の小委員会の提言を受け、初めて開催した。風評被害への懸念は根強く、放出に反対する声や補償を求める意見などが相次いだ。
- 4月6日 東京電力が、福島第一原発の放射性物質を含む水の処分について、海に放出することになった場合、海水1リットルあたりの濃度が1ベクレルを超えるエリアを年間の放出量ごとに予測した。それによると、年間100兆ベクレルを放出すると、原発から沖合2キロ、南北30キロの細長い範囲、年間22兆ベクレルを放出する場合は、沖合700メートル南北3キロの範囲になるとしています。放出量にかかわらず、風や潮の流れの影響で、岸に沿って細長く広がることになる。
- 4月7日 福島第一原発で増え続けている放射性物質トリチウムを含んだ処理水の処分を巡り、政府が富岡、大熊の両町役場で、大気への水蒸気放出と海洋放出が現実的とする政府小委員会からの提言内容を、町幹部や町議に説明した。富岡町では「結論ありき」と批判する意見が相次ぎ、さらなる議論が必要として再度説明の場を求めた。
- 4月7日 中国電力が、島根原子力発電所1、2号機の使用済み蒸気タービン設備にクリアランス制度を適用するため、放射能濃度の測定・評価方法に関する許可申請を原子力規制委員会に行った。対象となるのは、蒸気タービン設備取り換え工事によって、使用済みとなった低圧タービンの静翼と低圧内部車室。これまで取り換え工事を1号機で3回、2号機で1回行っており、対象物の総重量は計約1000トンに上る。
- 4月7日 14時12分ごろ、日向灘を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.6と推定。大分県佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市、宮崎県延岡市、高千穂町で震度3。
- 4月8日 原子力規制委員会が、定期検査中の四国電力伊方原発3号機での誤った制御棒引き抜きの事例に関し、トラブルの深刻度を示す国際評価尺度

は、安全上重要でない「レベル0」とする報告書をまとめた。また、事前の動作確認を行うなどとした四国電力の再発防止策を妥当とした。

- 4月8日 午前2時53分ごろ、薩摩半島西方沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.1と推定。鹿児島県薩摩川内市甕島で震度3。
- 4月9日 三陸沖から日高沖の日本海溝・千島海溝沿いで巨大地震が起きた場合、東京電力福島第一原発に東日本大震災と同程度の高さ13.7メートルの津波が襲来し、敷地が3メートル以上浸水するとの想定案を内閣府の有識者会議がまとめた。建設中の海拔11メートルの防潮堤も超え、汚染水が増加、流出したり、廃炉作業に影響したりする恐れがある。
- 4月9日 九州電力が、玄海原発で大気中に放出する放射性物質のトリチウムについて、放出量を38年間、誤って過少に算定し、国や自治体に報告していたと発表した。
- 4月9日 木幡浩福島市長が、福島第一原発から出る放射性物質トリチウムを含んだ処理水の処分方法について、「福島と名前の付かないところで海洋放出してほしい」、「福島県沖ですれば、どんなに補償があっても風評被害を受けるのは間違いない」、「巨大なタンカーで持っていき、できるだけ影響の少ないところすべきだ」と記者会見で示した。
- 4月9日 柏崎刈羽原子力発電所の石井武生所長が、再稼働に向けて地元の理解・信頼が大前提と考えていると会見。石井所長は、福島第二原発の所長から転任。
- 4月11日 午後4時15分ごろ、高浜原発の建屋内で、男性作業員が脚立から転落し、腰の骨を折る重傷を負った。
- 4月12日 午前0時44分ごろ、茨城県南部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.1と推定。茨城県水戸市、土浦市、石岡市、下妻市、常総市、笠間市、つくば市、筑西市、坂東市、桜川市、鉾田市、小美玉市、茨城町、城里町、東海村、栃木県宇都宮市、栃木市、佐野市、鹿沼市、小山市、真岡市、下野市、益子町、壬生町、野木町、高根沢町、群馬県邑楽町、埼玉県加須市、春日部市、久喜市、千葉県野田市で震度4、福島県、関東の広域で震度3。
- 4月13日 福島第一原発から出る放射性物質トリチウムを含む処理水の処分方法について、福島県富岡町で政府が被災した県内沿岸部の9市町村から意見聴取した。立地自治体からは処分の遅れによる廃炉作業への影響を懸念する声が上がった。
- 4月13日 女川原発で2020年3月、2号機建屋内で点検作業に当たっていた男性作業員1人が0.05ミリシーベルト内部被ばくした問題で、作業中の放射線

量測定が不十分だった結果、微量の放射性物質が飛散したことが原因だったと明らかにした。

- 4月13日 19時16分ごろ、長野県北部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.8と推定。長野県小谷村で震度4、長野県長野市、大町市、白馬村、小川村で震度3。
- 4月14日 日本原子力発電が、茨城県東海村や水戸市など6市村に対し、東海第2原発の使用前検査の申請について「再稼働と直結しない」と確約する回答書を提出した。
- 4月14日 日本時間で午前10時7分ごろ、ニュージーランド沿岸部でマグニチュード6の地震が発生した。
- 4月15日 ウクライナのチェルノブイリ原発周辺で山林火災が約10日間にわたって続き、ウクライナ政府は「周辺の放射線量に変化はない」としているが、火が原発や放射性廃棄物の保管施設に迫っているとの情報。焼失面積は制限区域内で約3万ヘクタールに達する可能性があり、原発事故後では「最大規模の火災」としている。火災の原因について、立ち入り禁止区域内の侵入者による放火の可能性があると発表した。
- 4月15日 玄海原発でテロ対策施設の建設工事に携わっていた50代男性が新型コロナウイルスに感染したと発表した。原発の運転には影響がないとしている。工事を一時中断するとともに、接触の可能性のある約300人を出勤停止にした。
- 4月15日 中国政府が、国内の原子力発電所について、新型コロナウイルスの感染拡大でも、原発の建設に短期的な影響は出でならず、稼働中の原発も悪影響を受けていないと表明した。
- 4月16日 東京電力が、新型コロナウイルスを巡る緊急事態宣言の対象地域が全都道府県に拡大されることを受け、福島第一原発の廃炉作業の体制を縮小する考えを示した。溶融核燃料の冷却や汚染水の管理などは継続するが、廃炉工程に影響が出る可能性がある。
- 4月16日 日本時間午前3時43分ごろ、カムチャツカで2つの地震(マグニチュード5.2、4.6)が発生した。
- 4月16日 午前11時18分ごろ、福島県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.4と推定。福島県いわき市、白河市、田村市、広野町、川内村、大熊町で震度3。
- 4月16日 インドネシアでマグニチュード5.6の地震が発生した。
- 4月16日 日本時間の19時42分ごろ、パプアニューギニア東部ニューブリテン島の沿岸で、マグニチュード5.3の地震が発生した。

- 4月16日 泊原発の再稼働に向けた審査で、原子力規制委員会は、敷地内にある断層が活断層にあたらないことを判断するためにはデータが不足しているとして、早ければ年内にも再び現地調査を行うことになった。
- 4月16日 中国電力は、上関町で計画されている原子力発電所の建設をめぐって中断したままになっている建設予定地の沖合でのボーリング調査を10月ごろ再開する方向で調整を進めていることがわかった。
- 4月17日 関西電力役員らの金品受領問題と類似した事案はなかったとする社内調査結果を、各大手電力会社が経済産業省に対し報告した。
- 4月17日 関西電力が、定期検査中の高浜原発3号機について、4月に原子炉を起動し、運転継続に必要なテロ対策施設の設置期限となる8月まで約4カ月間運転する当初計画を断念した。蒸気発生器2台の細管外側で確認された減肉の原因調査が長引いているのが理由。再稼働は、テロ対策施設が完成する予定の12月以降。
- 4月18日 柏崎刈羽原発で勤務する東京電力社員が新型コロナウイルスに感染した。柏崎刈羽原発は現在1～7号機全てが運転停止中で、「感染予防・拡大防止対策等を実施しており、発電所の安定的な運営に影響はない」としている。
- 4月18日 17時26分ごろ、小笠原諸島西方沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは6.9と推定。東京都小笠原村で震度4。
- 4月19日 スイスの環境監視団体によると、チェルノブイリ原発周辺で発生した森林火災による煙が、ウクライナの首都キエフの上空に到達し、世界最悪の大気汚染都市になった。
- 4月19日 浜岡原発で事故が起きた際、一時的な避難場所となる「放射線防護施設」が、原発から4.6キロほど離れた牧之原市に完成した。市が6億6000万円をかけてつくったもので、寝たきりの高齢者など要配慮者の一時的な避難先となる。
- 4月20日 日本時間で9時35分ごろ、南太平洋のシェパード諸島の火山島上に位置するバヌアツ共和国の沿岸でマグニチュード5.7の地震が発生した。
- 4月20日 午前5時39分ごろ、宮城県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは6.1と推定。岩手県盛岡市、大船渡市、花巻市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、奥州市、滝沢市、矢巾町、平泉町、住田町、宮城県石巻市、塩竈市、気仙沼市、登米市、栗原市、大崎市、松島町、涌谷町、宮城美里町、南三陸町で震度4、東北から関東広域で震度3。
- 4月21日 福島第一原発で増え続ける放射性物質トリチウムを含む処理水の処分を巡り、国内外の計約320の団体が、陸上での保管継続を国に求める共同声明を発表した。

- 4月21日 柏崎市議会で柏崎刈羽原発内にある使用済み核燃料の搬出を促すため、保管期間に応じて税率を上げる経年累進課税を導入するための条例案が可決された。
- 4月21日 アメリカのオハイオ州立大などのチームが、科学誌ネイチャーマテリアルズに、原発から出る高レベル放射性廃棄物をガラスなどで固めて地下深くに埋める地層処分で、金属製の容器内で腐食が加速的に発生し放射性物質が漏れ出す恐れがあるとの研究結果を発表した。
- 4月21日 韓国産業通商資源部が、政府が重点的に支援する産業の一つである原発廃炉産業の研究開発を行う原発解体研究所を来年下半期に着工する計画だと発表した。
- 4月21日 内閣府の有識者会議が、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震に伴う津波想定では、各地の原子力施設が浸水する深さなど具体的なデータは「予測結果は出ているが、各施設の状態を示せる段階まで整理ができていない。公表には地元自治体との調整も必要だ」として示されなかった。公表前の素案では、福島第一原発には東日本大震災と同程度の一三・七メートルの津波が襲来。地震発生66分後には、1～4号機の原子炉建屋がある海拔8.5メートルの敷地が最大3.3メートル浸水すると予測していた。
- 4月22日 九州電力が、玄海原発敷地内の工事に従事する2人が新型コロナウイルスに感染したこと受け、出勤待機となっていた九電や一部関連会社の社員が、出勤を再開したと発表した。
- 4月22日 午前2時26分ごろ、長野県中部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.8と推定。長野県松本市で震度3。
- 4月23日 カムチャツカ半島沖の太平洋でマグニチュード4.9の地震が発生した。
- 4月23日 日本時間で午前7時31分ごろ、太平洋南部のトンガ付近でマグニチュード5.5の地震が発生した。
- 4月23日 12時26分ごろ、福島県浜通りを震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.2と推定。福島県いわき市、浅川町で震度3。
- 4月23日 13時44分ごろ、長野県中部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.5と推定。長野県松本市で震度4、長野県長野市、諏訪市、下諏訪町、木曾町、朝日村、岐阜県高山市で震度3。
- 4月23日 13時52分ごろ、長野県中部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.5と推定。岐阜県高山市で震度3。
- 4月23日 13時57分ごろ、長野県中部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.8と推定。長野県松本市、岐阜県高山市で震度3。
- 4月24日 新潟県が、東京電力柏崎刈羽原発に勤務している社員が新型コロナウイルスの感染が確認されたと発表した。

- 4月25日 福島市大波と伊達市霊山町の住民1241人が、東京電力に対して福島第一原発事故による慰謝料の増額を求めた裁判外紛争解決手続きで、国の原子力損害賠償紛争解決センターが手続きを打ち切った。
- 4月25日 日本時間午前7時4分ごろ、ルーマニア東部でマグニチュード5.0の地震が発生した。
- 4月26日 午前2時22分ごろ、長野県中部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.9と推定。長野県長野市、松本市、木曾町、朝日村、岐阜県高山市で震度3。
- 4月26日 午前9時49分ごろ、茨城県南部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.8と推定。茨城県水戸市、石岡市、筑西市、坂東市、栃木県鹿沼市、小山市、群馬県板倉町、埼玉県春日部市、千葉県柏市で震度4、関東広域で震度3。
- 4月26日 21日に公表した太平洋岸を襲う最大級の津波想定で、東通原発の約10キロ北にある「猿ヶ森砂丘」で海拔約20mの津波の痕跡を報告した論文が、考慮の対象から外されていた。「砂丘は地形が変わりやすく過去の津波の復元は難しい。高さ20mは否定しきれない」との批判が出ている。
- 4月27日 午前11時32分ごろ、長野県中部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.6と推定。長野県松本市で震度3。
- 4月27日 日本時間午前7時52分ごろ、太平洋のニュージーランド南部でマグニチュード5.6の地震が発生した。
- 4月27日 柏崎市に暮らす東京電力社員とその家族が4月18日から相次いで感染したことから東京電力が、柏崎刈羽原発の工事を、2週間をめぐりに中断すると発表した。また、工事を80%ほど縮小するなど新たな対策を発表した。
- 4月28日 ベーリング海のコマンドルスキー諸島近くでマグニチュード4.1の地震が発生した。
- 4月29日 2019年8月から作業を進めていた福島第一原発1、2号機の共用排気筒の上半分を切断し、約60mの高さにする作業を完了した。
- 4月29日 日本時間午前7時10分ごろ、クリル諸島パラムシル島のエベコ山で噴火が発生し、3500メートルまで噴煙が上昇した。
- 4月30日 女川原発2号機の再稼働の前提となる安全対策工事の完了時期について、2020年度から22年度に延期することとなった。
- 4月30日 12時15分ごろ、青森県東方沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.0と推定。岩手県軽米町で震度3。